

ごみの減量化について（お願い）

ごみ排出量について、平成30年度以降、増加傾向となっており、特に**粗大ごみが急増**しております。要因として、平成30年7月豪雨災害、新型コロナウイルス感染症による在宅時間の増加に伴う自宅の片づけによるごみの増加が考えられます。また、使えるものは、ごみとして処分する前に、必要とする方いるかもしれませんので、リサイクルショップや津山圏域クリーンセンターリサイクルプラザを活用するなどし、3R：リデュース（発生抑制）、リユース（再利用）、リサイクル（再生利用）を行い、**ごみの減量により一層のご協力をお願いいたします。**

※ 目標値は、一般廃棄物処理基本計(令和2年3月改定)より引用

※ 令和2年度から平成28年度は、津山圏域クリーンセンター搬入実績

単位：t

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度 (2月現在)	平成31年度 目標値	令和2年度 目標値
可燃ごみ	2,886	2,795	2,946	2,880	2,877	2,779	2,611
不燃ごみ	63	53	56	68	69	54	53
資源ごみ	145	127	123	129	122	124	127
粗大ごみ	170	173	258	333	332	232	214
合計	3,264	3,148	3,383	3,410	3,400	3,189	3,005

